

社会人類学者から花柳界へ 日本で初めての外国人芸者

芸者
紗幸
文学部卒

花柳界初の外国人芸者となった紗幸さんは、日本文化を研究する社会人類学者でもある。フィールドワークを重視し、研究対象とする世界に自ら飛び込んでいく。ユニークなのは、テーマを決めるとテレビ局に提案し、ドキュメンタリー番組の制作と併せて調査を進める手法だ。過去には、諏訪大社の御柱や岸和田のだんじりなど、日本各地の祭りをレポートする番組を制作した。

「お座敷への出入りも、最初は番組制作のため。フィールドワークとして歌や踊り、着付けやお花などをお稽古しているうちに、奥の深い世界の魅力に惹かれていきました」

気がつくと、研究者として花柳界を見るだけでなく、芸者としてそこで生きてみたいと思う自分がいた。「芸者としてはようやくお披露目を終えたばかり。これから本当のスタート」と、昼間の稽古、夜のお座敷という多忙な毎日を送っている。

しかし、その合間を使ってビデオを回し、論文を執筆することも忘れていない。日本人が思いも寄らない新たな視点で花柳界がグローバルに花開くに違いない。



メルボルン出身。高校時代に交換留学生として来日。慶應義塾大学で心理学を学んだ後、オックスフォード大学大学院で社会人類学を専攻。2007年12月、初の外国人芸者「紗幸」としてデビュー。

芸者となっただけでなく、研究主体である自分が社会人類学の研究対象となった。

Geisha Sayuki of Asakusa 写真 http://www.sayuki.net/

